

2006年6月30日

大分市長 釘宮 磐 殿

国保を考える大分市民の会  
代表 佐藤秀樹

## 国保制度の改善を求める要望書

今年の3月市議会では医療費の高騰による累積赤字解消のためとして、国保税の大幅な値上げおこなわれました。市民の暮らしを直撃することは必至です。

長引く不況のなか、リストラなどで国保加入世帯は急増、年所得150万円以下の世帯が8割を占め、所得ゼロ世帯は41%と増えています。また所得階層別の収納状況みても所得の低い世帯ほど収納率が低くなっています。値上げによる、滞納世帯のいっそうの増加、収納率低下を引き起こすことが懸念されます。またこのことが、短期証・資格証明書発行世帯を増加させ、受診抑制につながり、市民の命と健康に重大な影響を与えるは避けられません。

国民健康保険法は「社会保障と国民保健の向上に寄与する」と明記されています。この立場を堅持し、国保世帯の現状を踏まえた、制度改善を強く要求するものです。当面下記事項について、善処されるよう要望いたします。

### 記

- 1、高い国保税を押さえるために、国庫負担の増額を国に要求すること。  
また、一般会計からの繰り入れをもっと増額すること。
- 2、低所得者に重い負担となっている応能割と応益割の比率を改め、低所得者の負担を軽減する措置をとること。
- 3、予防重視の国保運営を基本にして、短期保険証・資格証明書の発行抑制対策を強めること。
- 4、低所得者への減免制度を拡充すること。
- 5、一部負担金免除制度については、もっと利用しやすい制度に改善すること。

以上